

事務局／旭川市金星町1丁目1-52 道北口腔保健センター内
☎(0166)22-2361

<http://www.ahmic21.ne.jp/kyokushi>

「北海道8020推進条例」を超党派で成立 することを北海道歯科医師会も呼びかけ

最近、自民党・道民会議が、道民の健康増進のため「北海道推進条例」を作ろうとしていることは北海道新聞・朝日新聞などにも掲載されご存知のことと思います。

最近、北海道歯科医師会が「北海道8020推進条例」の超党派成立を呼びかけているので要約して紹介します。

●効果が高く、安全性が確立されているフッ化物の応用を条例で推進

「すべての道民の生涯を通じた歯・口腔の健康づくり」を目的としている「北海道8020推進条例」は、当然、超党派で支持されるべきものと考えます。万が一、この目的に異を唱える組織があるなら、その論拠を示してほしい。

ただ条例では、8020実現の手法の一部に科学的に効果が高く、安全性が確立されているフッ化物の応用を掲げるゆえに、特に民主党はどのような対応をするのか注目だ。

それに、2001年6月に作成された「民主党歯科医療改革案」では、歯科医療改革の3つの視点の中の一つとして、「治療歯科から予防歯科への転換」を掲げ、フッ化物利用の推進を謳っている。(以下抜粋)

「フッ化物利用が虫歯予防に果たす役割は大きく、国際歯科連盟(FDI)、日本歯科医学会などからも、その効能が高く評価されている。また、フッ化物利用が与える経済的メリットも大きい。そこで、家庭や学校などの施設でフッ化物洗口を行うことや、歯科医師または歯科衛生士がフッ化物歯面塗布することを奨励する。」

このように 民主党本部では、学校などの施設でフッ化物洗口を行うことを奨励している。

また、民主党医療改革大綱の中では、「健康を維持するため、また日常生活力低下の予防のために重要なのが自分の歯、そして咬合、嚥下機能の保持です。自歯を保っている人の糖尿病・心筋梗塞の発症割合は低いことが証明されています。予防の観点から、定期健康診断に歯科検診を追加することが重要です。」と謳われている。

この点においても、事業所歯科検診の普及を目指す北海道歯科医師会と同じ主張である。ぜひ、超党派で可決されることを望みます。」(以上、川原副会長の文を要約)

●学童のむし歯の平均本数が全国第5位と多いワースト北海道

さて、旭川市ではフッ化物洗口は菅原市政時代から10年以上も多くの幼稚園・保育所で継続している誇るべき事業で、虫歯は減少している。現在京都・静岡・愛知など都道府県単位で実施施設が激増している。むし歯の予防効果以外に一軒も問題になった事例はなく、学童のむし歯の平均本数が全国第5位と多い北海道で普及させなければならない方法です。

さて、102人の道議会議員の会派別構成は、自民党・道民会議(50)、民主党・道民連合(39)、公明党(7)、フロンティア(4)、日本共産党(2)です。各会派が、どのような結論を持つのか歯科関係者ばかりではなく道民が対応を注目しています。